

高等学校 (3学年用) 教科

家庭 科目 保育基礎

教科: 家庭

科目: 保育基礎

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組 ~ E 組 A 選択受講者

使用教科書: ( 保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ )

科目 保育基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 保育の意義 【知識及び技能】 子どもの人格形成における保育の重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの保育の特徴や、保護者に求められる姿勢などについて要点をまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 保育の意義について、自分自身が親や保護者になることを考えるなど、自分自身の人生観と結びつけて考える。	1 保育の意義 ①保育とは何か ②育ての心	1 保育の意義 【知識及び技能】 子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの保育の特徴や、保護者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 保育の意義について、自分自身が親や保護者になることを考えるなど、自分自身の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	○	○	○	6
	2 保育の環境 【知識及び技能】 家庭での養育と集団保育の役割を理解する。保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な保育・教育施設について関心をもち、ホームページからその特徴を調べるなど自ら情報を収集する。	2 保育の環境 ①子どもが育つ環境 ②家庭での養育 ③さまざまな保育の場 ④保育ニーズの高まりと課題 ⑤集団保育の重要性	2 保育の環境 【知識及び技能】 家庭での養育と集団保育の役割を理解している。保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な保育・教育施設について関心をもち、ホームページからその特徴を調べるなど自ら情報を収集しようとしている。	○	○	○	8
	3 子どもの発達の特性 【知識及び技能】 子どもの発達の共通性・個性について理解する。 子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解する。 子どもの心身の発達のために、保育環境が重要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連しあっていることを読み取り、具体的に考察する。	3 子どもの発達の特性 ①発達とは何か ②乳幼児期の大切さ ③乳幼児期の発達の特性	3 子どもの発達の特性 【知識及び技能】 子どもの発達の共通性・個性について理解している。子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。子どもの心身の発達のために、保育環境が重要であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連しあっていることを読み取り、具体的に考察することができる。	○	○	○	8
	4 保育の課題に取り組もう 【思考力・判断力・表現力】 家庭での養育の課題を考察しながら、子どもの心身の安定を図るために、保護者としての月齢、年齢に応じた適切ななかかわり方を具体的に考え、意見をまとめたり、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が保育者になることを想像しながら、子どもにとって適切な保育をおこなうためにかかわり方を工夫するなどの姿勢が見られる。	4 保育の課題に取り組もう 子どもの気持ちに寄り添う保育者とは	4 保育の課題に取り組もう 【思考力・判断力・表現力】 家庭での養育の課題を考察しながら、子どもの心身の安定を図るために、保護者としての月齢、年齢に応じた適切ななかかわり方を具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が保育者になることを想像しながら、子どもにとって適切な保育をおこなうためにかかわり方を工夫するなど、積極的に取り組む姿勢が見られる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期	5 子どもの生活 【知識及び技能】 子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につける。 子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣の習得を促すための、保育者としての具体的ななかかわり方を考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分ごととして課題に取り組む。	5 子どもの生活 ①子どもの健康と生活 ・子どもの養護 ・生活習慣の習得 ②子どもの食事 ・栄養と食生活 ・乳児の食事 ・離乳 ・幼児の食事 ③子どもの健康と安全 ・保育者の役割 ・子どもの安全 ・子どもの成長と遊びのなかの危険	5 子どもの生活 【知識及び技能】 子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣の習得を促すための、保育者としての具体的ななかかわり方を考察し、工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分ごととして課題に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力等】 保育施設で起こりうる事故について、子どもの発達過程や生活の特徴を踏まえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分ごととして課題に取り組む。	保育の課題に取り組もう すべての子どもに充実した保育を。	【思考力、判断力、表現力等】 保育施設で起こりうる事故について、子どもの発達過程や生活の特徴を踏まえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分ごととして課題に取り組もうとしている。		○	○	8

